

議事堂内セルフツアーガイド  
ミシシッピ州議事堂

Updated translation courtesy of Dr. Kaoru Ochiai of the Department of Modern Languages at the University of Mississippi.  
Original translation courtesy of the Mississippi Development Authority Existing Industry and Business Division.

**THE HONORABLE DELBERT HOSEMANN**  
**LIEUTENANT GOVERNOR**

**THE HONORABLE TATE REEVES**  
**GOVERNOR**

**THE HONORABLE PHILIP GUNN**  
**SPEAKER OF THE HOUSE**

建築期間	1901~1903 に 28 ヶ月を掛けて元州刑務所跡に建設された。
当時の建築コスト	\$1,093,641 ミシシッピ州がイリノイ セントラル社への訴訟で得た追徴金で建築された。 下級裁判所の判決は米国最高裁判所によって支持された。
建築家	ミズーリ州セントルイス出身のセオドール C. リンク
建築様式	1890 年代から 1029 年代に流行したボックス アート スタイル。オックスフォード建築辞書によれば「学術的な自信に溢れた壮大且つ豪華なスタイル」と定義されている。
政府	議事堂内には立法部門及び州知事の各種行政委員会会議場がある。州知事専用オフィスはウオルター シラズビルにあり、司法部門はキャロル ガーティン司法ビルにある。 いずれも、ハイ通りを挟んだ北側にある。
サイズ	幅 402 フィート(122meter)、奥行 225 フィート(68meter)、面積 171,000 スクエアフィート (15,886 平方メートル) 中央のドームの高さは 1 階から 180 フィート
外観	外壁はジョージア州の花こう岩の上にインディアナ州の石灰岩を敷いて作られている。メインドームは石灰岩の列をなした柱に囲まれた光沢のあるテラコッタドラム造り。鷲像は金箔が施された個体銅製であり、高さは 8 フィート (2.44 メートル)、翼幅は 15 フィート (4.57 メートル)
修復	1979 年から 1982 年に掛けて 1900 万ドルの費用で修復された。
ライト	最初から取り付けられた 4,750 個の照明器具がそのまま使用されている。その内、750 個は円形の広間に使われている。
一階	州知事ホール。これまでの州知事の肖像画が就任時期の順に飾られている。
二階	元の最高裁判管室は東廊下の奥にある。現在は上院委員会室として使用されており、使われていない時は一般にも公開されている。エブリン ガンディ元副知事の胸像が内部に置かれている。彼女は副知事及び州選挙で選ばれた複数の職務に就任した最初の女性である。1,899 年に修復された全ての最高裁判所判事のリトグラフは反対側の壁に飾られている。その中には米国最高裁判所で司法官を務めたミシシッピ州の唯一の人物である L.Q.C Lamar 氏も含まれている。西側廊下の奥にある、元の州立図書館には下院議員の部屋や委員会室がある。 (この元州立図書館は廊下側からのみご覧ください)
円形広場	壁はベルギーの黒い大理石塑造物を伴ったイタリア大理石で作られている。8 本のコラムは Scagliola (スカルヨーラと発音される) と呼ばれる人造アート大理石で作られている。目隠しされた Lady Justice (正義の女神) は法の公平性と正直さを意味している。欄干は建築モチーフが飾られた鋳鉄で作られている。ドームの中にはミシシッピ州の歴史を示す重要な 4 つの場面が描かれている。

- 大階段 これはボックス芸術スタイルの建物の物では代表的な階段だが、側壁を形作るために使用されている装飾的な工夫はユニークなものである。階段の踊り場には3つのステンドグラスがあり、Native Americans (アメリカ原住民)、Mother Mississippi(母なるミシシッピ川)そして Pioneer Settler (最初の入植者) が描かれている。建物内のすべてのステンドグラスと加鉛ガラスはシカゴにあったルイスジェイミラー社によって作られたものである。
- 3階 下院議長、知事、副知事、上下院会議場がある。副知事が上院を、そして下院議長が下院の議長を務める。
- 上院 上院会議場は東廊下の奥にある。入り口の間(ま)には三つのアーチがあり、長いオーク材のベンチの上部にガラスが飾りが施された窓があるが、それらは全てこの建物にあったオリジナル作品である。会議場の支柱、壁パネルそして羽目板は人造アート大理石で作られている。このようなアールヌーボー様式は、ドームのステンドグラスにも見られ、ライトの一番内部の近くには「人民の政府、人民のための政府、人民による政府、そして人民に責任を持てる政府」という言葉が刻まれている。議員たちの机は1940年代に交換されたものである。ミシシッピ州の上院議員数は52名。  
(会議場内部では机や演壇には近寄らないでください。)
- 下院 下院会議場は西側廊下の突き当りにある。玄関ホールの壁はテネシー州産ピンク色の大理石をベースとして、テネシー州ノックスビル大理石で飾られている。会議場の壁はベルギーブラック大理石で出来た羽目板が付いたシエンナ人造大理石で作られている。そこに置かれている机は元からあるものである。元からある演壇や事務員の机は今でも使える状態にあり、果物の彫刻、溝彫り、造形で飾られている。州の紋章は一つ一つのアーチの上段や、議長の椅子の後ろにあるオリジナルの真鍮の一部にも描かれている。ミシシッピ州の下院議員数は122名。  
(会議場内部では机や演壇には近寄らないでください。)
- 4階 廊下床にあるガラス シリンダーによって光が床を通過して3階にある天井にあるステンドガラパネルを飾ります。訪問者は上院と下院の会議場をご覧ください。
- 地上階 議事堂の南側に位置している。自由の鐘は1950年に米国合衆国財務省から各州と各準州に展示するように渡された55個のレプリカの一つである。女性達の彫刻は1912年にテネシー州ナッシュビルのベル キニー氏によって寄贈されたものであり、鑄造はティファニー スタジオで行われた。鐘と女性達の彫刻の間には、2016年に国立公園局より州議事堂が国定歴史建造物として指定されたことを記念する碑がある。
- 議事堂の北側：
- ハイ通り の東にはミシシッピ州の自由の街道の一部であるキャピトル ラリーと言うマークが設置されている。1966年にメンフィスで始まり、ミシシッピ州の議事堂まで続いた「March Against Fear」(恐怖に立ち向かう行進)を記念して設置されたものである。これはミシシッピ州の歴史の中で最も大きい市民運動デモと言われている。様々な木々の中にはミシシッピ州の州木及び州花であるマグノリアも植えられている。
- 開館時間： 月曜日から金曜日、ガイドなしのツアーは午前8時から午後5時まで、ガイド付きツアーは午前9:30、11:00 そして午後2:30開始。  
グループツアーはビジターサービス電話 601-359-3114 又は [tours@house.ms.gov](mailto:tours@house.ms.gov) にて事前予約が必要、議事堂ギフト ショップは午前9時から午後4時まで開いております。